

叙勲の受章

おめでと〜うございませす

高齢者叙勲が内閣府から発表されました。受章の栄誉を受けられた方々を紹介します。

◆瑞宝双光章

小林 武夫さん

元大和村立大和中学校長
(88歳・大曽根地区)



小林さんは、昭和22年3月に旧新治郡小桜青年学校に地方教官として赴任。同年4月に同郡小桜村立小桜中学校教諭となり、以来、昭和62年3月に旧大和村立大和中学校の校長として定年退職するまで、約40年にわたり教育の発展振興などに貢献されました。

同氏は、「戦後の学制改革のころに教員となり、平成の大合併など、激動の時代を皆様に支えられ、今日におよびました。米寿を迎え、今回の受章は、家族や地域社会の方々のご指導、ご援助によるものと感謝しております」と、受章の喜びを話していました。

◆旭日単光章

上野 晃さん

元岩瀬町議会議長
(88歳・大泉地区)



上野さんは、昭和51年3月に旧岩瀬町議会議員に当選されて以来、平成8年3月までの間、5期20年の永きにわたり在籍。任期中には、副議長、厚生常任委員会委員長、議会運営委員会委員長、岩瀬町農業委員会委員、岩瀬町土地開発公社理事などを歴任し、地方自治の向上発展に尽力されました。

同氏は、「受章してはじめて喜びをしみじみと感じております。ご協力いただいた皆様には、お礼の言葉もございません。今後は、多くの方々へお礼が届くように頑張りたいと思っております」と、受章の喜びを話していました。

第20回全国報徳サミット真岡市大会

〜現代に受け継がれる二宮尊徳の教え〜

平成26年11月29日、栃木県真岡市で報徳サミット全国大会が開催され、桜川市からは市民74人が参加しました。二宮尊徳（金次郎）の教えを学んで、まちづくりを生かすため、ゆかりの深い市町村が交替で大会を開いています。

二宮尊徳は小田原の出身で、財政再建に能力を発揮し、北関東や東北にも請われて江戸時代後期の地域再生に力を尽くしました。

桜川市域では、青木堰（青木地区）を本格的な用水堰として修築し、農政指導も行って地域復興に成功しました。

大会では、二宮尊徳の事績について



桜町陣屋跡に建つ二宮尊徳資料館などを見学した参加者の皆さん

て講演を聞いたり、サミット加盟市町村のまちづくりや、東日本大震災で被災した福島県内の各市町村の復興への取り組みを学びました。

午後からは、北関東の復興に指揮をとった桜町陣屋跡（国指定史跡）などを、ボランティアや真岡市職員などの案内で見学しました。

前日の総会には市長が出席し、加盟17市町村が災害時相互応援協定に調印しました。広域災害においては、遠方の市町村との応援関係が重要です。桜川市としても、将来の災害に備えて協力体制を深めてゆきます。



災害時応援協定締結式の様子

■問合先／生涯学習課 伝承館グループ (☎0296-23-8521)